情報セキュリティ 第1回 2011/4

# 企業の対策

情報システムにおいて、特に留意しなければならないのは、情報の**機密性・安全性・可用性**である。

|  |  |
| --- | --- |
| キーワード | 意味 |
| 機密性 | 情報が漏洩しないようにすること |
| 安全性 | 情報が改ざんされないようにすること |
| 可用性 | システムが停止しないようにすること |

情報セキュリティ対策を行い、システムを運用していくことが重要である。

情報の機密性・安全性・可用性を維持するための情報セキュリティポリシーを決めておく必要がある。

## 社内ネットワーク

システム管理者は、**ユーザー権限**と**ユーザー認証**を設定する必要がある。

**ユーザー権限**は、社内のサーバーに対して、ユーザーごとにどの機能を利用できるかを設定する。

**データベースサーバー** 情報の収集とデータ検索をする

**ファイルサーバー** ファイルの共有を目的とする

**ユーザー認証**は、ユーザーアカウント（ユーザー名とパスワード）を使用して、本人かどうかを確認することである。

* パスワードは、他人に知られないように留意しなければならない。

## 情報セキュリティ関連の資格

* 情報セキュリティマネジャー
* セキュリティ上級監査人
* ネットワーク情報管理者

# 個人の対策

インターネットの主な使用目的として、電子メール、ホームページ閲覧、ネットショッピングなどがある。

* 不特定多数の人々がインターネットを利用しているので、氏名や住所、メールアドレスなどの個人情報には十分に留意しなければならない。
* インターネットを使用する上で、ウィルス対策は重要である。ウィルスの被害を防ぐためにも、ウィルス対策のソフトウェアをインストールしておく。
* ネットショッピングでは、購入するときにクレジットカードの番号が必要な場合がある。購入するための入力フォームがSSLを利用しているか、プライバシーポリシーを確認する。